



水質測定用試薬セット No.40 全クロム

型式: LR-Cr^T

発色：無色→淡赤→赤→赤紫

測定原理：酸化とジフェニルカルバジド法

試薬：R-1(滴ビン)、R-2(滴ビン)、R-3(滴ビン)、R-4(パック)

測定条件(推奨)

測定波長：542.0nm

前処理方法：1. 検水25mLをとり、R-1試薬を10滴加える。

2. 検水を軽く沸とうする程度に加熱しながら、かきまぜても淡く赤紫色が残るまでR-2試薬を加える。

3. 加熱を止め、R-3試薬を1～2滴加えて色を消す。

4. 15～30℃まで冷めたらメスシリンダーに戻し純水を加えて25mLにする。

測定方法：1. 前処理した検水をセルに入れ、ゼロ合わせを行なう。

2. セルに入れた検水をもどし、検水25mLをビーカーに採り、R-4試薬を加え、すぐに15秒程攪拌する。

3. R-4試薬投入5分後、吸光度を測定する。

4. 予め作成した検量線より、測定値を求める。



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666
<http://kyoritsu-lab.co.jp> kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp

裏面もご覧ください。

使用前、使用後の取扱い注意

応急措置

試薬・測定液が **目に入ってしまったら** → すぐに15分以上、水で洗い流してください。
痛みや異常がなくても直後に必ず眼科医の診断を受けてください。

試薬・測定液が **皮膚や衣服にふれたら** → すぐに水で洗い流してください。

試薬・測定液が **口に入ってしまったら** → すぐに水で口の中を洗い流してください。

上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

特に、試薬・測定液を飲み込んだ場合には、水または牛乳を多量に飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

試薬の有害性については外箱背面の「GHSに基づく表示」をご参照ください。

試薬に関するお知らせ

R-1 試薬は硫酸を含んでおり、取扱い者への SDS の提供を義務づけた「労働安全衛生法 特定化学物質第3類物質」、「労働安全衛生法施行令 名称等を表示し、または通知すべき危険物及び有害物」に該当しません。

また、R-2 試薬は過マンガン酸カリウムを含んでおり、取扱い者への SDS の提供を義務づけた「労働安全衛生法施行令 名称等を通知すべき危険物及び有害物」に該当します。

なお、「PRTR 法」、「毒物及び劇物取締法」には該当しません。

R-1 試薬および測定液は pH2 以下です。